



会報

第 1761 回例会

2 月 18 日 №29



相模原中ロータリークラブ

会 長 瀬戸 裕昭 幹 事 豊岡 淳

●姉妹クラブ

龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ
光明学園相模原高等学校
インターアクトクラブ



ゲスト卓話「タウンニュースについて」

タウンニュース社 相模原支社長

井坂 欣弥

タウンニュースは主に朝日・読売・毎日の三大紙に折り込み配布し、毎週木曜に週刊発行しています。タブロイド版でカラー刷りです。

発行エリアは現在、神奈川県全域と町田市に全部で 45 地区、毎週合計 221 万部という規模です。全部で 17 支社部署があり、150 人の記者が各地で取材や営業活動を行っています。

ところで、「タウンニュースはどんな商売か」といいますと、無料の地域新聞であり、いわゆる“フリーペーパー”と呼ばれるものです。他に「ぽど」「サンケイリビング」「ショッパー」「ホットペッパー」といった媒体も手配りや、

街頭配布などで手に入れることができますが、これなどもそうです。

ではフリーペーパーとは、どういうビジネスモデルか？ まず収入面からですと、購読料を貰いませんから、スポンサーからの広告料が全てになり、広告ビジネスです。

因みに、電通（日本最大の広告会社）が毎年発表している「日本の広告費」2012 年度版によると、総広告費が約 5 兆 9 千億円。テレビ CM が全体の 30% でトップ、次いでネット 15%、一般紙 10%、フリーペーパーは 4% で 2370 億円、ラジオが 2% です。

フリーペーパーは、こうして入った広告収入から、固定費・製作費・印刷費・配布費用などを差し引いて、利益を出します。会社として継続するためには、常に安定したスポンサーの確保というのが課題になりますが、スポンサーも常に費用対効果を測るので、広告効果がなければ出稿の継続がありません。

そうすると遠からず、市場からの退場という厳しい現実には直面するわけです。各社は、そうならないように一生懸命、広告効果を上げようとしてきます。不特定多数の読者を、どうやって自分達の媒体の読者にしようかと工夫してきます。

その辺りの仕組みは、民放テレビの視聴率競争と良く似ています。NHKと違って、民放テレビは視聴者がお金を払わなくても、ただで見れますが、これは番組スポンサーが製作費を出すからです。その代わり、スポンサーは自社企業のCMをたくさん見てもらうために視聴率を求めます。面白い番組を作れば、視聴率が上がり、スポンサーがたくさんついてくれ、安定した番組作りが続けられます。

これを我々の話に戻しますと、どんな紙面を作れば、読んでもらえるかということになります。今、フリーペーパーと言え、飲食や物販など面白い物を前面に押し出した生活情報誌が主流で、昔から、このジャンルは幅広い年代の読者に強く支持されています。言ってみれば、ある程度は「読める」分野といえますが、その反面、競争が非常に激しい分野でもあります。

このような状況下で「タウンニュースはどこに着眼したか」ということですが、配布した資料をご参考下さい。平成20年のデータですが、タウンニュースが実施した、読者向けの意識調査をまとめたもので、相模原中央区の結果です。

これを見ますと、タウンニュースの読者は男性より女性が多く、30代～60代が主力の読者となります。これは行政情報に限った話ですが、医療や福祉、環境、防災、子育てなどに関心が高い傾向にあり、更に広報については「わかりやすさ」を求めている傾向にあります。

地域に、こういうニーズが埋もれていることを土台にして、タウンニュースは一般の生活情報誌

とは一線を画して、「報道・ニュース」を前面に押し出して、読者の獲得を目指しています。

そして、もう1つこだわったのが、「地域密着」という考え方で、地元の密着したニュースを一般紙の地方版よりも詳細に、圧倒的に多くのニュース量を読者に提供する媒体がタウンニュース、そう言われる媒体作りを目指しました。

そのために、相模原は緑・中央・南の3区ですが、この3区ごとに編集室を作り、それぞれの地域に即した、全く別の紙面を編集しています。

ひと昔前に「地方の時代」という言葉が流行り、それから随分経ちました。昔は、その言葉の中に「これからの地方はこうあるべき」という理念のようなニュアンスが込められていたと思いますが、「3.11」を境に、今は断然リアルな言葉として、復活してきました。

災害時だけでなく、高齢者も子育ても地方のコミュニティをもっと充実させなければ、もたない。中央頼みでは生き延びることはできないという時局意識が住民の間に芽生えてきたといえそうです。本物の地方の時代ということなのだと思います。

例えば、地方の“ゆるきゃら”などは大流行で、船橋のふなっしー、熊本のクマモン、相模原でも“こけまる”や“みうい”やらのご当地キャラが相当受けています。B級グルメなども地元を背負っていますし、最近はAKBの歌のダンスを、いろいろな地方の、いろいろな団体が踊るのが大流行して、それがユーチューブ（You Tube）にアップされる。どんどん地方が発信されていくのです。

何といても、あれだけ甲子園の高校野球が支持されるのも、故郷への思い入れが、日本人は相当強い証拠だと思います。確実に、これはもう地方の時代ということです。

ここに需要があるわけで、この地元志向に地域密着のニュースを提供することで応えようとするのが、タウンニュースのビジネスモデルです。

読んで頂ける地域新聞を作ることが、取りも直さず、我々の仕事の目的になります。地域の出来事なるべく多方面に取材して、読者に相模原の今がポッと浮き出てくるように感じてもらえるような紙面作りを心掛けていて、取材対象もなるべく広範囲に広げるようにしています。➡

会長の時間

それこそ、赤ちゃんから市長まで登場頂いており、市民の小さなサークル活動から、将来の都市像の見通しまで、なるべく判りやすい内容で伝えていくのを編集方針にしています。

その中で、まずまず反響を頂いたと思われる最近の記事をご紹介します。相模原駅前に「場外馬券場」が計画されていることを報道した記事があります。もう、ご存知かと思いますが、ざっと概要を言いますと、昨年秋に JR 相模原駅南口の商業ビルに、地方競馬の場外馬券売りの出店計画が持ち上がりました。

まず経緯と概要を紙面で伝えましたが、当該店舗がいわゆるギャンブル施設ということで、設置に当っては利害が衝突して、推進・反対に意見が二分しています。

できるか・できないか、結局はどちらかに決まっていくわけですが、町づくりの観点でいけば、タウンニュースとしては、いつの間にかどちらかに決まっていたというのではなく、その過程を透明にして、住民に伝えていきたいという思いがあり、それがご覧頂いている紙面で、推進と反対の意見の述べ合いという企画になりました。

読者にも一緒に、町づくりを考えてもらいたいという期待があり、そういう仕掛けができるのはタウンニュースだけではないかという思いもありました。

最後にインターネットへの取り組みですが、紙面内容を毎週更新して、ホームページを開設しています。また、これは関東でも唯一だと思いますが、発行エリア内の全ての市議・県議・首長・国会議員 1,000 人のプロフィールを写真入りで紹介した「政治の村」というサイトを立ち上げております。“タウンニュース”で検索頂けますので、時間のある時にのぞいてみて下さい。

駆け足で、仕事のほんのさわりをお話させて頂きましたが、今後も我々の紙面が少しでも町の活性化や、読者の元気に結びついていければいいなと念じながら、これで終わりにさせて頂きます。ご清聴有難うございました。（一部要約にて掲載）



先週、先々週と途轍もない天候に見舞われて、皆様も、てんてこ舞いだったのではないのでしょうか？ 1 回目の雪で散々な思いをし、2 回目は予報上は「前回ほどではない」という情報が出回ったのが、人の油断を引き寄せてしまったようにも思えます。

弊社では材料は入らないし、品物は納品出来ませんし、高速道路ではありませんが、社内が大渋滞でした。社員を早く帰さなければ…とか、翌日は社員が集まらない…とか、インフルエンザで来れないとか、大騒動でした。今週末頃はたぶん、お客様からの納品催促に追い回されること確定です。今から、それぞれの得意先への言い訳を思案しておこうと思いますが、そんな事を言っていると、明後日、また雪になるかも知れません…。皆さん、お気をつけ下さい。

先日、地区からメールが来まして「2 月 23 日をロータリーの創立記念日と決めました」とありました。勉強不足でお恥ずかしい限りですが、「今まで無かったのだ」というのが率直な感想でした。言わずと知れた 1905 年 2 月 23 日シカゴ RC の誕生の日ですが、創立記念日とは教わらなかったような気がします。

この 100 年以上経過したクラブも、時代ごとに変化し続けて今日がある。そんな中、大変短い期間ではあるが、自分もそこに参加して、一端を担っていることの責任を改めて感じました。

（裏ページに続く）

皆様も、ぜひ「ロータリーの歩み」(ロータリージャパンのホームページ)をご覧くださいと思います。

なぜ急に、こんな事を言い出すのかと申しますと、メールの中に必ず例会で「記念日」について触れて下さいとあり、発言させて頂きました。

そして 2/23 日を記念日とし、第 2780 地区はポリオ撲滅推進キャンペーンを 1 年間通して実践しており、多くの方々にロータリーを知って頂き、「公共イメージと認知度の向上」に繋がればと思います。

第 5 グループでは、“第 40 回市民桜祭り”の際「END POLIO NOW」キャンペーンを企画していることは、ご報告させて頂きました。日時は、2014 年 4 月 5 日(土)～6 日(日)です。

徐々に詳細が決まり始めました。クラブ分担金は当クラブは 15,000 円になります。(40 名以上＝20,000 円、40 名以下＝15,000 円) 活動内容は、RC パンフレットの配布。「END POLIO NOW」のチラシ配布、募金活動。募金者へのピンバッジ配布。集客促進の為にヘリウム風船の配布などで、個別クラブの広報活動、宣伝も OK だそうです。

中クラブは、4 月 6 日(日)午後 13:30～17:30 が担当時間だそうです。参加会員は 5 名以上、ぜひ多くの会員にご参加をお願いしたいと思います。人数は多いに越したことはありません。

また、マカティール・ポブラシオン RC (フィリピン) が、3 月 30 日(日)に相模原に来られるそうです。(日程：3/30～4/3 日) そのため、3/25 日夜間例会と 4/1 日通常例会を入れ替え、4/1 日を夜間例会(歓迎会)として企画中です。詳細は追ってご報告致します。

<委員会報告>

○ロータリー財団委員会—横溝委員長

次週例会より、ロータリー財団の寄付を集めさせていただきます。地区目標額は 1 人 2 万円以上となっていますので、どうぞ、ご協力をよろしくお願い致します。



●瀬戸会長、豊岡幹事

①本日、ゲスト卓話のタウンニュース社の井坂様、よろしくお願いします。

②会員の皆様、雪の影響も大変ですが、今日も例会、ロータリーを楽しみましょう。

●老沼 秀夫会員

①井坂支社長、卓話ご苦労様です。帰りに入会案内をお持ち下さい！

②家内の誕生日祝を戴き、有難うございます。

●菊地 啓之会員

①妻の誕生日を祝って頂き、有難うございます。

②タウンニュース社相模原支社長の井坂様、本日の卓話よろしくお願いします。

③早川会員、職業スピーチよろしく。

●江成 利夫会員

①ご夫人誕生日祝の菊地会員、老沼会員、おめでとうございます。

②井坂支社長さん、ようこそいらっしゃいました。

③ショートスピーチの早川会員、宜しくお願いします。

●神田 達治会員、小野 孝会員

①度重なる大雪！ 皆さん、腰痛の程は？

②菊地さん、老沼さん、ご夫人誕生お祝、おめでとうございます。

③井坂さん、卓話楽しみです。

④早川さん、ショートスピーチよろしく。

●櫻内 康裕会員

①本日お祝の皆さん、おめでとうございます。

②ショートスピーチの早川会員、タウンニュース社の井坂支社長、宜しくお願いします。

●阿部 毅会員

①本日、卓話をお願いしましたタウンニュースの井坂支社長さん、よろしくお願い致します。

②ご夫人誕生日祝の菊地会員、老沼会員、おめでとうございます。

③米山奨学生の王さん、ようこそ。論文も終わってホッとしましたね。

<次ページに続く>

●横溝 志華会員、田後 隆二会員

①菊地会員、老沼会員、ご夫人の誕生日祝おめでとうございます。

②早川さん、ショートスピーチを楽しみにしています。

●中里 和男会員

ご夫人誕生日祝の老沼さん、菊地さん、おめでとうございます。

●佐々木 敏尚会員

①本日、ご夫人誕生日祝の菊地さん、老沼さん、おめでとうございます。

②先週金曜日の夜は横浜線が止まってしまい、やむなく事務所に泊まりました。寒くて凍えそうでした。帰宅難民にならないように気をつけましょう！(^^)



本日のスマイル額

17,000円

今年度の累計額

633,100円

<職業ショートスピーチ>

早川 正彦



会社の創立は昭和38年2月1日ですので、今年で51年目になります。場所は相模原市田名で、清水原工業団地内にあり、会社名は早川銘板製作所ですが、皆さんは“銘板”と言われてもピンと来ないと思います。

ですが、日常生活の中の身近にある物で、工業的な標識やデザインなどに使われています。例えば、自動ドアに付けられているプレート、ボーイング機などにも300枚位使用されています。また商工会議所に使用されている議員の方々のネームプレートは、当社で製作しました。

よって、基本的にどなたでもお客様になって頂ける職種であり、全ての業界とお付き合い出来る会社です。“銘板”とは、そういう物だにご理解頂ければ幸いです。(概要にて掲載)

<米山奨学生 王さんより>



皆さん、大雪は大丈夫でしたでしょうか？

私も当日は論文の発表会で、終わった後、約6時間位かかって、家にたどり着きました。

また先日9日に、米山奨学生終了式があり、あっという間に一年間が終わります。皆様に感謝致します。今後は米山学友会に入って、学友として、いろいろ奉仕活動をしていきますので、これからも宜しくお願いします。(概要にて掲載)

<ハイライト米山より>

(抜粋にて掲載)

○寄付金速報

今年1月までの寄付金は前年同期と比べ0.6%増、約560万円増加です。普通寄付金が1.7%減ですが、特別寄付金は1.8%増となりました。

昨年7月からの累計額は約10億円となり、先月と同様、直近5年間で最高額となりました。皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。1月は普通寄付金(クラブの定期寄付)下期分が主になる時期です。今年度はこれまでに全クラブの76%、1,724クラブに納入頂きました。今後とも宜しく引き続きご協力をお願い致します。

報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①地区研修協議会 開催のご案内

次年度のための地区協議会を秦野 RC をホストに開催致しますので、ご出席をお願い致します。

日時：4月20日（日）13:00～17:10 研修会

17:20～18:30 懇親会

場所：東海大学 湘南キャンパス

登録料：8,000円 登録締切：3月17日

出席義務者：（以下、次年度）会長、幹事、クラブ奉仕担当者、広報雑誌担当者、会員増強担当者、職業奉仕担当者、社会奉仕担当者、国際奉仕担当者、青少年奉仕担当者、ロータリー財団担当者、米山奨学担当者、クラブ研修リーダー（R情報委員長）、新会員（2012年7月以降入会者）

*2014～15年度ロータリー手帳 予約の件

5月下旬頃出来上り予定、1部648円 申込締切：2月25日 申込希望者はクラブ購入しますので、2月25日例会までに事務局に申込下さい。

※IMの出欠表を回覧しております。ご記入（フォーラム、懇親会）をお願い致します。

例会プログラム

2月25日卓話 黛 裕治会員

3月 4日卓話 阿部 毅会員

定例理事役員会

11日→8日（土）移動例会・IM

15時点鐘「ラポール千寿閣」

出席報告

会 員	出席(出席対象19名)	事前メイク者
28名	21名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率
3名	87.5%	92.0%

<2月のお祝・ご夫人誕生日祝>



・菊地 啓之ご夫人 2月 5日

・老沼 秀夫ご夫人 2月23日



<ショートスピーチ>

老沼 秀夫>

家内の誕生日祝を有難うございます。間違いなく届けます！ところで家内の誕生日は偶然にもロータリー創立記念日と同じ、2月23日になります。今はフラダンスなど忙しくやっているようです。これからも大事にしていきたいと思います。

（概要にて掲載）



例会記録

点 鐘 12時30分

場 所 相模原市民会館「あじさいの間」

司 会 丸子 勝基SAA

斉 唱 ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 田後 隆二会員

ゲ ス ト タウンニュース社

相模原支社長 井坂欣弥氏

王 爽さん（米山奨学生）

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3

相模原商工会館3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●例会場 相模原市民会館「あじさいの間」

〒252-0239 相模原市中央区中央3-13-15

TEL 042-752-4710 FAX 042-753-2000

●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

●例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

●編 集（親睦活動委員会）

委員長 菊地 啓之

副委員長 竹田 繁

委 員 中里和男、佐々木裕、老沼秀夫

阿部 毅、最住悦子、田後隆二

<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/rotary/>